# 特別寄与料審判申立書（記入例）

令和○年○月○日

〇〇家庭裁判所　御中

申立人（特別寄与者）

氏名：〇〇〇〇（長男の妻）

住所：〒000-0000　〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

電話番号：000-0000-0000

被相続人

氏名：〇〇〇〇

生年月日：昭和○年○月○日

死亡日：令和○年○月○日

死亡時の本籍および住所：〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

相手方（相続人）

氏名：〇〇〇〇（長男など）

住所：〒000-0000　〇〇県〇〇市〇〇町〇丁目〇番〇号

申立の趣旨：

民法第1050条に基づき、申立人が被相続人に対して行った特別の寄与により、

被相続人の財産の維持に貢献したため、相手方に対し金○○○万円の支払いを求める。

申立の理由：

申立人は、被相続人である〇〇〇〇の長男〇〇〇〇の妻として、平成○○年より令和○○年までの○年間、

同居または近居しながら、以下のとおり被相続人の療養看護・生活支援を行ってきた。

- 通院および入退院の付き添い

- 日常生活の支援（食事・入浴・排泄等の介助）

- 在宅看護・看取りまでの介護全般

- 介護保険サービスの手続きおよび金銭的支援（交通費、日用品等）

これらの寄与行為は、被相続人の福祉向上および財産の維持に大きく貢献するものであり、

一般的な親族関係を超えた特別の寄与に該当すると考える。

上記理由により、相手方に対して特別寄与料として金○○○万円の支払いを求め、

審判を申し立てるものである。

添付書類：

・申立人の戸籍謄本

・被相続人の戸籍（出生～死亡まで）

・相続人全員の戸籍

・介護記録・医療記録等の資料

・遺産に関する財産目録（写し）

申立人：〇〇〇〇（署名）　印